

## 『コピー9回』

少し前のニュースで大々的に取り上げられていましたので、すでに御存知の方には古い話題ではあるかもしれませんが、恐らく何と無くそうなのかの的な感じでよくご理解になられていない方も多と思われる為、とあげてみます。

**コピーワンスがコピー9回に昇格、**な話題。

ニュースのおかげでさも決まったかのように見え決定かと捉えられた方も多そうですが、是、まだ決まってはおりません。先の報道は「案をまとめました報道」です。しかしながらほぼ決定の見通しですので、そもそもな知識はつけておいて損はありません。

コピー9回になって変わることは何でしょうか。「1回が10回になりました。」大まかに言いますとそうなります。9回なのに10回と書きしたのは、1回移動が可能であった状態に+9回コピーができることになり計10回の為です。元データからのコピーが9回追加でできるようになったと申したほうが幾分わかりやすいでしょうか。

今回のコピー9回案で重要なのは、「元データからのコピー」が9回まで許されたという部分にあります。録画した番組を10枚までならDVDとして保存することが可能です。しかしながらその作成したDVDをさらに別のDVDに作り直したり再度HDに戻したりはできません。元データではないから、です。この「コピーのコピー」を孫コピーなどと申し、今回のコピー9回了承案では、孫コピーへの許可はやはりありませんでした。VHSに録画されている内容をDVDにするように、将来DVDが古くなったとき、新しい何かに移し変えたく思ってもそれはできないままなのです。データが古くなったらどうして頂けるのかと単純に疑問に感じてしまいます。

孫コピー不可環境のままですので、正直コピー回数が何回増加したかなどには個人的に余り興味をひかれませんが、9回対応とは言っても9回のコピーを完了するまで元データをHDDに残し続けるというのは、どうも容量の無駄使い感が否めないのです。とはいえ、早々にDVDにしてしまっても、それ以上の編集ができないDVDが何枚も在る状況…どう展開致せるでしょうか。コピーワンスに不便を感じられるような録画マニアの方には、コピー回数が増加した、程度は特に劇的な前進に感じないでしょう。録画データがHDDを圧迫することなど何年かかるのかも不透明な見通しの方にはそこまで魅力的な話題として映っているとも思えませんし、聊かつわ言のような考えが過りさえ致します。

**そもそも**9回とは何処から出た数字かと申しますと、報道の通りで、日本の平均的な家族の人数を3人とし、3人がそれぞれ3種類のメディアにコピーができるように、ということからきているようですが、3種類のメディアとして扱われていた「携帯電話」や「携帯音楽プレーヤー」にコピーができるHDDレコーダーにはまだお目にかかったことがございません。これから登場されるとしても、それを購入してからでなければ、同じ壇上にさえ登れていない次元のお話です。

購入しないと聞けないと言え、今すでにデジタル放送の録画が可能なレコーダを持つ皆様は、コピー9回が実際に始まりましても、コピー9回の恩恵を受けることができません。何故かと申しますと、現時点で所有のレコーダ殿は「移動後元データを消す」仕様で脳ができあがっている為、放送がコピー9回OKな状態で送られてきたとしても、関係なく自分の仕事をきっちりこなさるからであります。

ふと、早々にデジタル放送に対応したことに対し、微妙に損をしているように感じるのは気のせいでしょうか。ソフトウェアのバージョンアップなどで対応できるものならよろしいのですが、ハードの動きに関わる問題ですしその道の実現も難しそうです。このような局面では、地デジへの切替は極力様子を窺いつつ、最新仕様対応の機器で周辺を揃えたほうがよいのではないかなどと思ってしまうそうです…。

しかしながら先にも述べましたように9回のコピーにさほど有難みを感じませんので、別に構わないというのが本音ではありますが。

**結論、**孫コピーを許して頂きたいのです。

さすればコピーが1回しかできないとしても、新型メディアが登場する未来に至ることがあっても、気に留めず安心して自分ライブラリを構築していけるのにとおもうのです。

若しくは、ハードの買い替えを要しない(ソフトのバージョンアップ等で対応可能)改善方法を願う次第です。

とはいえ、コピーの緩和に前進したこの流れと更には今後の展望にも係るよい一吹になったのではないかと思います。